SF大会本

第21回ＳＦ大会プライベートレポート

吾妻ひでお
いしかわじゅん
新井素子
とりみき



TOKON Ⅷ

第21回SF大会プライベートレポート

ＳＦ大会本

●目次●

表紙イラストレーション／吾妻ひでお

»tokon«VIII



SF大会本発刊にあたって……

阿島 俊

82年のSF大会もなんとなく始まって、なんとなく終った。年一回のSFファンのお祭りにしては、あっけなく、散漫だったというのがその印象だ。それはもうここ数年続いているSF大会に対する物足りなさの内実でもある。特に、分科会制というか、小会議室と大ホールの組み合せによるプログラムが定着してからは加速度がかかっているようだ。最後のアットホームなSF大会と言われているKYUKONにおいても分科会みたいのはあったが、その結果発表風のものが全体として取り行なわれていた。

SFファンの一体感、それは大会の楽しみの一つだったのだが、七〇年代以後のメディアの分散、つまりSFファンの分化と増加がそれを妨げるようになってしまった。もう「SFファン」を一くくりにして語れるような状況はありえないのだ。もともと、SFファンダムは、マンガ、映画、アニメといったものと重なりあわせていはしたのだが、おそらくTOKON Ⅵあたりからのアニメファンの増加が、その分化に拍車をかけた。

ぺの出現は、その後に、多くの○を用意していた。つまり幻（幻魔だけ）、ア（アニメだけ）、さらに吾（吾妻さんだけ）とか新（新井さんだけ）も出てきて、SF大会は寄りあい所帯の様相を呈すようになったのだ。話しかけてもお話は通じないし、82年の大会では今まで一冊（それも途中まで）しかSF小説を読んだことのない人ともお話したという貴重な体験を得た。

また、主催グループが企画を見せるというあり方も、SINCONあたりが最後の輝きだったようだ。MIYACONあたりから始まったコスチュームショーも、アニメ中心になりつつあるうえ、最後に持ってくるほどには盛りあがらない。コミケットで見るそれの方が凝っていたりするのも悲しいことだ。

「SF」という言葉が持っていた魔力は、疎外感と選民意識が生み出していた幻想だったのかもしれない。「SFマインド」という言葉を使っての疎外感と選民意識の再構築は、もう一つうまくはいっていないようだし、状況は決して逆戻りはしまい。

SF大会だって、もう二度と昔のようにはなりはしないのだ。SFファンの分化と、規模の拡大、状況の変化、そういった様々な変化を自ら体現していくしかないだろう。

そして、ファンは、自らのSF大会体験を自らの中で気持ちよく変化させ、幻想を持続させるしか、手はないのである。全ての企画を見て廻ることもできず、大ホールに座り続けることを潔ぎよしとせず、ただうろうろとするしかなかった参加者としては特にそうかもしれない。

ここにこうやって、おくればせながらもプライベートな同人誌出版の形で「SF大会裏レポート」を出すことになったのも、自らの中の〝熱狂〟を確認したいからであり、虚構と現実の入り乱れた「SF大会」の中に〝熱狂〟を発見してもらいたいと思うからだ。真実かどうかはおくにしても、この本につめ込まれたのは、まぎれもない個的SF大会体験なのである。

SF大会体験の捏造。――そう見られても構いはしない。所詮、個人のフィルターがかかった時、既に現実は修復がきかぬほどにねじ曲げられているのだからだ。

そしてそのねじ曲げる力こそSFマインドに他ならないとぼくは考えているのだ。

TOKON8 EXPRESSより……

時	中ホール	小ホール	大ホール	大会議室	小会議室 ⑧	小会議室 ⑨	小会議室 ⑩
11時	0 オープニング&ガイダンス		0 オープニング・ガイダンス 30 SFを拓いた人 鬼 福島正実 対談 石川喬司 半村良 森優（南山宏）の3氏	0 SFの5W1H 海外SF研究会が総力をあげてSFを多角的にとらえる	0 蒲郡SFを愛する会	0 トレッキーズランド	0 ゲームの部屋
12時	0 NEWS 5 One Point DJ ぱあと1 作家，ファングループの横顔を聞かせます	40 SFアニメ創世記 数々の貴重な資料を交えて，豊田有恒・石津嵐両氏が熱く語る製作裏話・秘話	45 難波 on シンセサイザー！ 喋るシンセサイザーによる超音楽実験 出演 難波弘之さん，他	0 SFセミナー・スペシャル・フォーラム “SF小説とSF研究”をめぐって白熱した議論が期待される	0 ASTRO－SHOGUN		
1時	30 決定！ 輝け第1回ファンジン大賞＜講評会＞ 荒巻義雄，柴野拓美			30 コードウェイナー・スミスを中心に 特別座談会 浅倉久志 伊藤典夫 安田均の各氏	0 ぬいぐるみ	0 アニメソング	
2時	30 ゼネプロ・アワー SF講演	0 SF漫画家パネル・ディスカッション 吾妻ひでお他の方々がSF漫画を追求！	0 中性子星上の夕暮はSF心をかきたてる！ 門倉 山田 横田 石原 堀の各氏が出演	30 ミニ星群祭 関西随一の創作集団「星群」による創作指導教室 講師 眉村卓 荒巻義雄の両氏			
3時	0 ラジオSFコーナー（NHK版・ライヴ編）	5 新人作家パネル 大原まり子など新人作家の皆さんの内面を，今岡清氏が鋭く探る1時間	0 乱遊対談 ― 生命のイメージ 気の遊学者・松岡正剛 vs SF乱学者・大宮信光		0 Battle 81	0 B級SF映画VTR上映会第1部	
4時			0 決定！ 第1回ファンジン大賞 30 来会者紹介		0 リングワールド・予告編		
5時		0 夢枕獏一座 影絵ショー ウブな芸人たちが，あなたをミステリアスなファンタジィの世界へ御招待		0 コスチューム・パーティー 宇宙軍・連合会議共催の一大SFページェント	0 グループ・エビセン作品集		
6時			30 土曜の夜はアニメを語ろう 「シャンキャット」「青いトリトン」 講演 手塚治虫氏		0 夕顔		0 川又千秋杯エアガン大会
7時							

14

SF大会の日

米沢喜博

　お久しぶりですと、ぼくは言った。一九八二年八月十四日、赤坂都市センターホール、入り口。東京で九度目、第21回SF大会にまたも、登録せずに入り込んだぼくの、その日最初の言葉はそれだったみたいだ。

　次の言葉はたぶん、どうも、どうもだったと思う。で、あちこちで、これを繰り返しながら、SFにあいさつをしていったぼくのSF大会は、またも、その正式なプログラム部分をごっそりと抜け落ちさせていたのである。

　二千人近くを集め、大ホール、中ホール、小ホール、大会議室、そして三つの小会議室を立体的に使って組みあげられたSF大会のタイムテーブルは、上を見てもらえばわかるように、盛り沢山で復雑だ。多様化したファンのニーズに応えようと、ますます混沌とした構成になっている。全てを見るのは不可能だし、選択できるほどきっちりとしたポリシーを持っているわけでもないぼくにとっては何処に居てもいい感じで、結局、何処にもいないという二日間をすごしてしまったようだ。

時	中ホール	小ホール	大ホール	大会議室	小会議室 ⑧	小会議室 ⑨	小会議室 ⑩
10時	0 映画「タイム・バンディット」&映画解説＋新作ＳＦ映画情報／11時・12時より，一時中断NEWS各５分間	30 ヨコジュン・マチャキのビックリ・バトル・ロイヤル ゲスト，横田順彌・山田正紀	30 映画「遊星よりの物体X」（原作Ｊ・Ｗ・キャンベルJr）	30 ユーラシアＳＦの現在（イスカーチェリＳＦクラブ）共産圏・台湾・フランス等のＳＦに乞御期待／	0 ユング心理学とＳＦ		0 古本即売＋加藤直之原画展
11時					0 '60年代がＳＦなのだ	0 ベリーワールド８月例会	0 古本オークションI
12時		40 加藤直之のおえかき教室 イラストレーター加藤直之，長谷川正治両氏の美術スクール	30 ＳＦクイズ・ウォーズ・ストライクス・バック．ＳＦ大会史上最大のＳＦ大流血戦!!		0 ペーパーウォーズ	0 連合会議	
1時	0 NEWS 5 アニメ・DJコーナー Animec編集長・小牧雅伸，茅壁紀子，他		45 次期大会PR	0 少女マンガとＳＦ ゲストに少女漫画家を迎えて，光瀬龍氏の司会で進めるオモシロ対談	0 宇宙塵の部屋	0 B級ＳＦ映画VTR上映会第２部	
2時	0 NEWS 5 ワイドショー・すてきなあなたに 人生相談，他 大会実行委員多数	0 小松ＳＦの因子分析 小松左京研究会が，アンケート結果比較分析に基づき，小松ＳＦの六つの因子を抽出し，定義づける	0 来会者紹介 30 コスチューム・ショウ おなじみ"桃太郎侍""バンピレラ"他，多数出演 ゲスト審査員 光瀬龍・野田昌宏の両氏	5 ヒロイック・ファンタジー・パネルディスカッション 鏡明氏をゲストに，ショウマンシップに富んだローラリアスの魅力を披露	0 フリートーキングルーム		0 古本オークションII
3時	0 NEWS 5 料理人バンザイ 金子隆一 Sports Hour News Show						
4時	20 ＳＦ大会がらくたたたき売り／		0 ローラリアス・ショー ゲスト鏡明 30 授賞式 45 第13回星雲賞授賞式				0 イラストオークション
5時			15 エンディング				

15

ずっと昔のＳＦ大会、ＫＹＵＫＯＮからＳＨＩＮＫＯＮあたりまでは、ただ客席に座ってるって形で参加してたが、この数年、オープニングと星雲賞、コスチュームショーを除くと、何にも見ていないという状態が続いている。

で、何をやっているかというと、どうも、どもどもを繰り返しているだけだ。ファンジンも買いまくらなくなったし、ＳＦの話もしなくなったし、オークションや即売会もちらっと通りすぎるだけ。体を休める為にイスに座って映画を眺め、近くの喫店全てを回り、夜はお酒を飲む。

時々ふと、参加してるんだから、何か見なくちゃとは思うけど、なにやらいつのまにか、うやむやと二日間は過ぎ去ってしまっているという具合だ。都市センターの復雑な建物の中を、ウロウロふらふらと歩き回っていたぼくの二日間は、都市センターに重なっていた二重像の中にぼんやりと佇んでいる時間だったのかもしれない。そうして、ぼくは現実を確かめるように、じゃ、また大阪でと言って、会場を後にしたのだった。


冷たい汗
TOKONの夜
吾妻ひでお

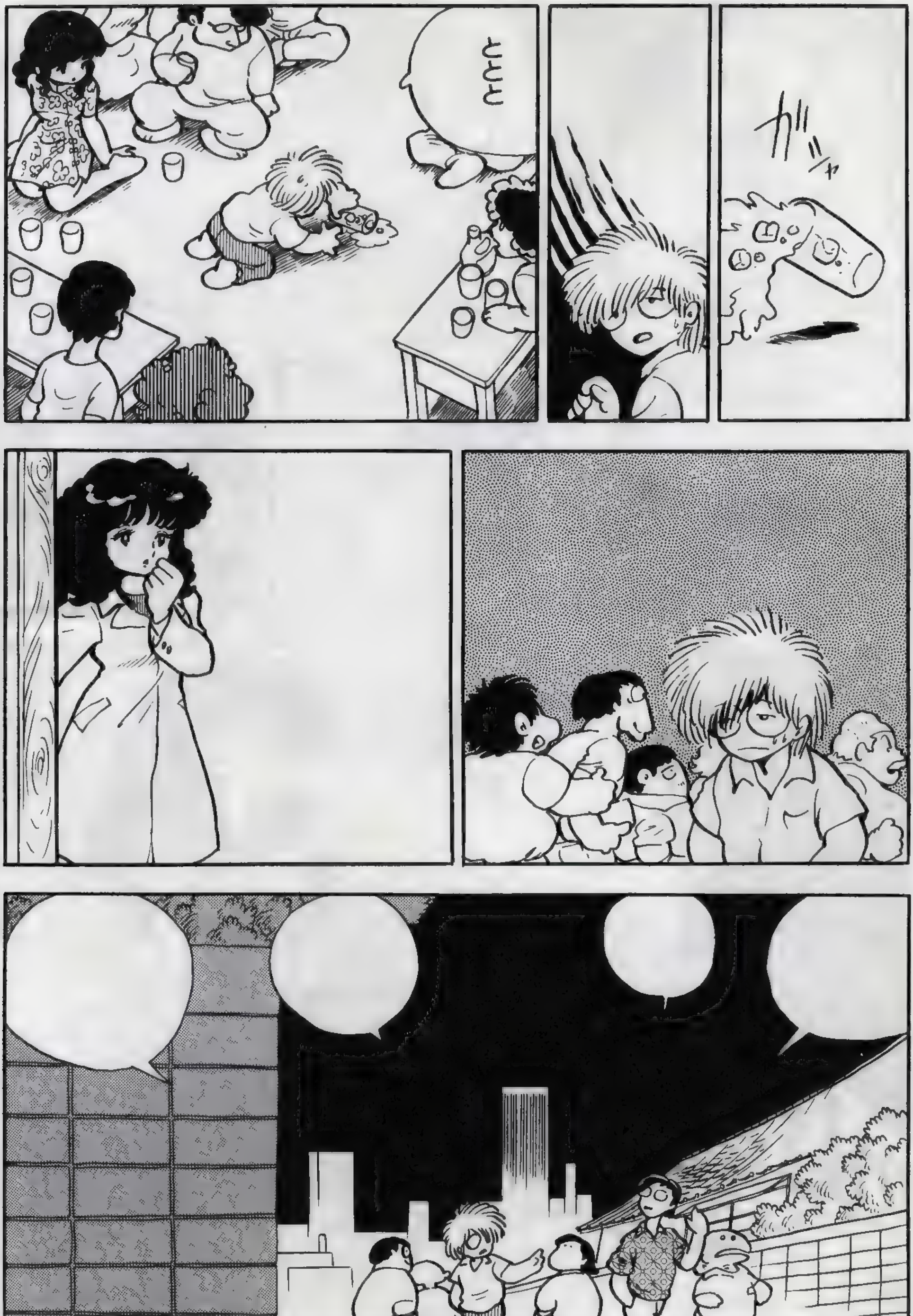

パァーン


ども


ふむ
ふむふむ
ふむ
受けないな
ファンジンを買おう


そーか
この人が
あの人
だったのか……
ギク
うー
最近
SF読んで
ねーからな――
う――
ビール
ビール
ビール
ビール




ととと
ガシャ


パアーン
FIN

素子のＳＦ大会レポート



新井素子

ＳＦ大会は、今年もＳＦ大会でした、まる。う—ん、何かはったおされそうな書きだしだけど…でも、本当に、そうなのよね。かつてＳＦ大会に参加した人なら判る、あの、どっかおかしい人間の集団が、どどって一杯あつまって、どっかおかしな大騒ぎをくりひろげる雰囲気。あの雰囲気は、ＳＦ大会としか言いようがない気がする。

ＳＦ大会は、今年もＳＦ大会でした。

☆

ＴＯＫＯＮⅧ。東京での、八回目のＳＦ大会。毎度のことながら、会場の場所聞いた時、嫌な予感がしたのよね。何か…とっても、判りにくそうな場所にある予感がする…何か…。

そして。この手の予感は、必ずあたってしまうのだわっ！ （きっと地下組織があるのよ。で、毎年何人の人間が迷い子になるか、かけているのに違いない。ＳＦ大会賭博とかいって）

あっちこっち、うだうだぐだぐだ歩く。立ちどまっては人に道を聞き…ようやく、会場、みつけた！

でも。不思議なことに、うけつけが、ないのですね。うけつけ…あ、大ホール、めっけ。大ホールの中では、もう企画がはじまっているみたいで…あ—ん、はいりたいよお。でも、うけつけに行かないと、プログラムもネームプレートももらえないのだわ。その辺の人を呼びとめる。

「すみません…うけつけ、どこですか？」

「は？ 入り口の…」

このページは新井素子さんご本人の打ったワープロ原稿をそのまま使いました。



▲難波弘之氏によるオープニング

「入り口はどこでしょうか……」

会場についてからうけつけ探すこと十五分。ようやくうけつけ探しあてる。

「あれ？　新井さん、どこからはいってきたんですか？」

「……こっちが聞きたいです」

あの会場、無断侵入、簡単にできるわよ。現に、まったく無断侵入する気のないあたしが、何故か無断侵入してしまったんだもん。（あとで調べた結果、どうやらあたし、地下食堂の入り口からはいり、ビルの中をうねうね歩き、メインホール前に来てしまったらしい）

☆

うけつけ済ますと、難波さんの企画に出る時間。楽屋で大原まり子さんと〝おひさしぶり♡〟ごっこして遊ぶ。（本当は、大原さんとか、火浦さんとか、岬さんとか、東京にいる人達には割とちょくちょく遊んでもらってるんだけど）

舞台の上には。シンセサイザー（なんだろうな、とにかく機械！ってもの）がおいてあって。

「ここで何かしゃべって下さい」

あたしの声をシンセサイザーにいれて、で、難波さんがキーおすと、あたしの声が聞こえてくるんだそう。

何もきのきいた台詞思いつけずに、仕方ないから〝新井素子です〟って言おうとした。で、いつもの癖で。

「えっと、新井素子です」



▲ファンジン売場でサインに応じる吾妻氏

ところが。シンセサイザーにはいる音って。時間制限があるのですね。難波さんがキーボードおすと、各音階にわかれたあたしの声が。

えっと

えっと

えっと

えっと‥‥

ホール中に、えっとの和音がひびいてしまったのでした。

☆

そのあと。大原さんとお昼御飯たべて。高井信さん、岬兄悟さん、火浦功さん、神林長平さん達と合流。みんな、これから新人作家パネルディスカッションにでるんだって。

「‥‥みんな‥‥でるの？」

「え？　素子ちゃんもでるんでしょ？」

あ‥‥あたしだけ、呼んでもらってないんだもん。ぐすん。

いいもん。あたし、仲間はずれだもん。いいもん。すねるもん。いいもん。ぐじぐじ。

いいもんいいもんってずっとすねてたら、お情けでだしてもらえた。実行委員会の皆様、司会の今岡さん、御迷惑おかけしました。どうもすみませんでした。

☆

そのあと。ファンジン売り場のぞいたり何だかんだして、大和真也さんに会って、きゃあ、お久しぶり♡（彼女とは、本当に、お久しぶり）　そのあとは大体彼女と行動を共にする。



▲裏合宿で休息中の吾妻氏、いしかわ氏、小口氏

二人して、ぱくさんの影絵、見にいった。こういうとこで、かたい椅子に腰かけて、影絵なんか見ていると……何となく、小学校時代、思いだしたりして。

ほら、昔、小学校に時々来なかった？　影絵のおじさんとか、手品のおじさんとか。クラスごとに、教室の椅子かかえて講堂に集まって、影絵見るの。

そのあとで。裏合宿、のぞいてみようかって話になった。で、真也ちゃんとあたしと、女の子二人だけで夜道を歩かせる訳にいかない、という騎士道精神あふれる男の方数人とで、裏合宿へ。（今回は、合宿だけでは人がはいりきらなかったの。で、ＳＦ大会の企画とは別に、もう一つ、合宿があったのだ。それが裏合宿）

地下鉄おりて。あたし、連れの方向いて。

「で、どこ？」

「さあ、僕は知らない……」

「どこ？」

……何と。全員、裏合宿の位置を知らなかったのですね。

「どうしよう……」

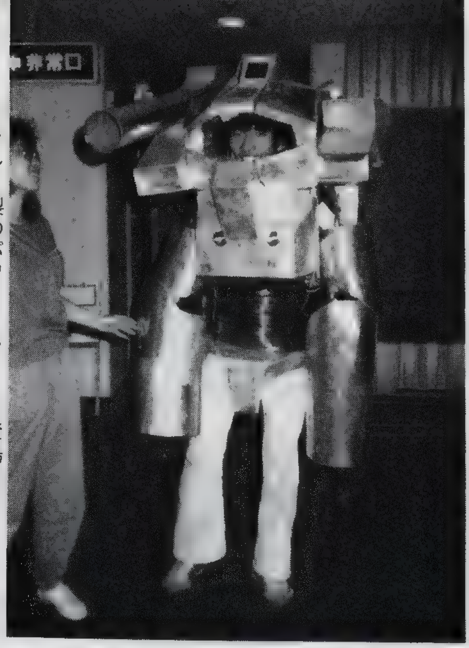
と、真也ちゃんが。実に元気に。

「方向的には、こっちだと思う」

「……どうやって行くの？」

「ずっと歩いていれば、いつか、見つかるわよ」

そりゃ、今日か明日か明後日か、いつかは見つかるだろうとは思う。でも……。とりあえず、二時間探してみつからなかったら帰ろうねってことにして。



▶アルミ製のパワードスーツも登場

みつかりました。最終的には。一時間半くらいかかって。真也ちゃん、偉い！
途中で。騎士道精神あふれる男の方が。
「…ついてきてよかった…」
本当、ついてきて頂いて助かりました。あんな、人気のまったくない、街灯だってところどころにしかないような道、女の子二人で歩くのはたまらなかったと思う。ありがとうございました。
でも。来るのに予定をはるかにうわまわる時間がかかったので…着いた、さあ帰ろうって感じで…。

☆

翌日。ヨコジュン・マチャキのバトル・ロイヤルを見に行こうとして、余りの人の多さにおしもどされる。中途で、それとは別口の長い列があって。
「この列、何なんですか？」
「ダイコン（次のＳＦ大会です）の予備登録です」
…すごいなあ。もう来年のＳＦ大会の申込かあ…それも、こんなに長い列作って。
ＳＦ大会、年々人が多くなって…それは嬉しいんだけれど、同時にちょっと信じられないような気もするのよね。中学高校時代ずっと、まわりの女の子達の反応、「えすえふぅ？やだあ、頭痛くなるもん」だったから。うん…すごいなあ…。

☆

それから。クイズ・コーナーに、矢野さんのおまけとして、出る。意地の悪い問題が多かったなあ。あたしが解答者だったら、きっとすさまじい恥をかいていたとこでしょう。


▲舞台上で矢野徹氏、新井さん、大阪芸人

それにしても。なんでみんなしてあんなに（ペ）をいじめるのですか？（ペ）の人ってマゾなのかしらん。独文科にいるくせに、まだペリー・ローダン読んだことのないあたしとしては、これ、謎です。

途中、ゲストクイズで。あたしについての問題もでたのよね。

「じゃ、新井さん、問題読んで下さい」

言われて紙に目をおとし……一瞬、絶句。何と読めばいいのだ？

「どうしたんです？　読めないんですか？」

司会者さんの不審そうな声。そうです、読めないんです。

「あ、あの……この問題、間違ってます」

〝いつか猫になる日まで〟という、あたしの書いた小説についての問題なんだけど……。

〝いつか猫になる日まで〟の主人公、石神井公園の仇名は？

というのが問題で、答、海野もくず。

しゃ……石神井公園は公園なんだからっ！　名字が石神井、名が公園さんっていう訳じゃ、ないんだもん。東京都練馬区石神井にある公園で、石神井公園。（ちなみに、主人公は海野桃子で、仇名がもくず）土地が主人公のSFって……でも、考えてみたらなかなか画期的だって気もするなあ。今度石神井公園主人公にして書いてみようかしら……。どんな話になるか、まるで想像もつかないけど。

☆

さて。お次は……うふっ、コスチューム・ショウなんですよね、コスチューム・ショウ。

うーれしいな、楽しいな。今回は、コスチューム・ショウ、最初っから最後まで、全部



▲「愛国戦隊大日本」

みられる♡　今まで、いつも何か用事があったり、プログラムにひっかかったりして、コスチューム・ショウ、全部みたことなかったんですよねえ。るんるん。

〝闇の左手〟と、〝消滅の光輪〟が、実に莫迦莫迦しくて、よかった。闇の左手って、男の人が一人とことこでてきて、ぱっとホール内のあかりが消えて…何すんのかなって思ってたら、彼、懐中電灯で左手照らして、一言。

「闇の左手」

消滅の光輪は、前輪しかない自転車をえいこらえいこらおしてきて――で。

「消滅の後輪」

この、莫迦莫迦しさ。こ、この…好きだな、とっても。

〝バーバレラ〟。髪が素敵。腰あたりまである、見事にストレートな黒髪ゆらしておどる、抜群のプロポーションの女の子。いいなあ、あこがれちゃうんだ、ショートカットしかできない女の子としては。（ある程度以上髪の毛のばすと、あたし、髪の毛おばけになってしまう）ただ、あれだけ長時間おどるんだから、もうちょっと、ストーリー性が、欲しかった。

でも、何といっても、圧巻は。

大阪芸人、すごいっ！　とにかく圧倒的なバイタリティ。

映画を作ってきたんですよね。ストーリーは、まあ、おいといて、あの…。

爆発！　すごいっ！　とても素人が作ったとは思えない爆発シーン。

コスチューム！　えらいっ！　よくあんな派手な格好で、映画、とれましたねえ。

主題歌！　そうよ、主題歌まで作っちゃうんだから。TVみてるような気分だった。

そして。そして、あの莫迦莫迦しく無茶苦茶でとにかくおかしい映画をとった、根性に



▲コスチュームショーより「バーバレラ」

脱帽です。

来年のSF大会は、期待できそうだなあ。（大阪芸人一派が、実行委員やってます）

☆

そして、星雲賞。海外長編が、ホーガンの〝創世機械〟。短編が、ディッシュの〝いさましいちびのトースター〟。日本長編が、井上ひさしさんの〝吉里吉里人〟。コミックは大友克洋さんの〝気分はもう戦争〟。アートが長岡秀星さん。特別賞が宇宙塵に。大会メディア賞として、〝ダイコンⅢ・オープニングアニメ〟

でもって。日本短編〝ネプチューン〟、本当に、どうもありがとうございました。

去年星雲賞頂いた時、はじめてであがっちゃって、何も気のきいたこと、言えなかったんだけど…今年、二度目で、よく、判った。要するに、あがったさかった関係なく、あたし、気のきいたことを言えない体質なのです。きっとそう。だから難波さんのコーナーでも、〝えっと〟の大合唱になっちゃったのよ。あたし、名台詞と、とっても縁遠い人なんだわ。

☆

かくて。何だかんだのうちに、SF大会もようやくおわりまして。

また、来年、遊ぼうね♡

P.S.　この原稿…SF大会おわってから三か月後に書いたので…時間のこととか、人の台詞とかで、間違いがあるかも知れません。何ていっても、だいぶ忘れちゃったから…。

もし、間違ってたら、ごめんなさい。

SFマンガ家パネルディスカッションより

吾妻ひでお vs いしかわじゅん with 米沢嘉博、とりみき

抗争の火種はつきず……！



米沢　もはや、何で戦っているのかまったくわからないんですが、吾妻＝いしかわ抗争というのがありまして、作品の中でのケナシ合いから始って、かなり長びいた戦いになっていったわけです。去年のSF大会で一応、手打ちが行われて、あとは肉弾戦の時代になると予告されたわけなんですけど、その後どうなっていたのか全くわからない。一応まだ火種は残っている……ということで今回はその吾妻さんといしかわさんの抗争というものを低次限の戦いではなく、つまり、FCに女子校生がいるのいないのとか、足が短いの長いのとか、そういったところで止っていたら二人とも、いつまでたっても偉くなれないんじゃないかと……。もっと、形而上学的な戦いにもっていこうという目論見で今日はやろうと思ってます。

　で、まず、吾妻さんといしかわさんの間にはかなり共通点もあるわけですけど、その根本の部分ではかなり違っているんじゃないかと思うんです。二人の間には暗くて細い川が流れているわけであって(笑)、二人の間にはいったいどういった対立意識があるのかといったところを中心にうかがってみたいと思います。たぶんそれを決めたのは幼年期の体験だと思うわけです(笑)。じゃあ、とりさんおねがいします。

とり　僕の方で吾妻さんの司会をやりますのでよろしく……。えっと、マンガ体験なんですけど、子供の頃育った環境ですが、マンガそのものは自由に手に入ったわけなんですか？

吾妻　北海道の山の中でしたんで本屋もなくて、本を買っている人は学校でも一人か二人ぐらい。それをみんなでまわし読みするぐらいで……。

とり　本を買っている人というのは町かなんかへいって…。

吾妻　そうです。バスに乗って。

とり　そのまわし読みをしてたマンガ雑誌というのはどんな雑誌だったんですか？

吾妻　月刊誌中心で、「ぼくら」とか「少年」とかまあいろいろ…。
とり　作品でいうと？
吾妻　「アトム」とか、「天馬鉄兵」とか「鉄人」とか、ギャグでいうと「日の丸くん」、そんなかんじです。
とり　友達から借してもらって、まわし読みをするという以外にマンガに接することは小学校時代にはなかった…？
吾妻　ないです、ハイ。
とり　それでは愛知県豊田市育ちのいしかわさん、小学生時代は？
いしかわ　ちょっとあんまり覚えていないけど、やっぱり、月刊誌が多かったですね。
とり　でも、町に本屋さんはあったでしょう？
いしかわ　ほ、本屋はありましたよ(笑)。
とり　それは、かなり大きな違いだと思いますけど。
吾妻　僕は雑誌って買ってもらったことがないんですよ、だから全部借りて読んでたんで、借りて返さないんで友達から「日出夫ちゃんは本を返さない」って言われた(笑)。
米沢　貸本屋というシステムは北海道の方にはあったんですか？
吾妻　いや、僕んとこの近くでは聞いたことない。
米沢　いしかわさんの方では、貸し本屋はかなりあったと思いますけど。
いしかわ　貸本屋は家の近所にもあって、僕が借りたのは、いわゆるマンガ、手塚治虫系統のマンガで、友達が白土三平系統のを借りてて、交換して読んだ。あのころの貸本マンガみたいなものはだいたい読んでた。
米沢　なんていうか、いしかわさんの場合は「影男」であるとか、そういった非常に暗い劇画が出てくるわけですけど、貸本屋の片すみで立ち読みしていたなんていうことは？
いしかわ　そこでは立ち読みできなかった。オレが子供の頃いってた床屋に貸本屋から借りてきたマンガが20～30冊ぐらい置いてあってね、そこにあるのを全部読んでから帰るのね、そこで、つげ義春とか水木しげるとかを覚えた、それとあと、小島剛夕の怪奇ロマンシリーズ…。小学校3～4年ぐらいだったかな。でもやっぱり一番読んだのは劇画ですね。
米沢　いしかわさんの根が劇画といわれるところに触れているわけですけど(笑)、あの頃劇画というと南波建二ですとか園田光慶といったところが劇画マニアに人気があったんですが。
いしかわ　園田光慶はやっぱり好きだった。でもあの頃の貸本劇画のメインといえば、さいとうたかをの「台風五郎シリーズ」だろうね。やっぱり、さいとうプロ一派、そういうものをただ一生けんめい読んでましたよね。
とり　とすると、吾妻さんは今、いしかわさんがおっしゃったような作品というのは…？
吾妻　全然知らなかった(笑)。劇画というものの存在を小中高校時代まで知らなかった(笑)。あっ、高校の頃は雑誌にもちょこっとでてきたんで、さいとうさんぐらいは知ってた。
とり　高校のときに劇画を知ったというのは？
吾妻　ええ、グラコンの北海道支部に入って。COMのあった頃ですね。大和和紀さんの一年後輩でした。それでみんな単行本とか読んでいて、永島慎二がどーのこーのといってて、それはなんなのだろーと(笑)。そこで初めて知って、永島慎二を知らなかったと言ったら、あっバカを見る目で見られたという…(笑)。
とり　そこで劇画の存在を知っても劇画にはしりはしなかったわけですね？
吾妻　みんな、もう目の色変えて劇画やってたんで、永島さんとかは読みました。でも絵的には全然、影響うけませんでしたよね、あのーなんか、スゴイなあとは思いましたけど。でも、劇画の死の灰

はあびなかった(笑)。

米沢　マンガを描き始めるとき、モデルにしたマンガ家とか、めざしたマンガ家というのがいると思うんですが、いしかわさんの場合は？

いしかわ　ぜんぜん、いなかった。

米沢　明大マン研の先輩のかわぐちかいじさんとか、ほんまりうさんとかの影響というのは？

いしかわ　それはやっぱり、大学に入るまでマンガ描いたことって1～2回、大学に入ってほとんどゼロから描き始めたから、当時スターだったんだよね、かわぐちかいじというとマンガの描き方というか、ノウハウというものをあの人達から覚えた。直接影響あったことはあったんだけど、あんまり、あの人達をマネしようと描いたんじゃなくてあの人しか知らなかったから…。

米沢　明大に入る前に描いていた作品というのはどんなものだったんでしょう？

いしかわ　小学校の時に描いたのは、井上英沖のマネだったんだよね、「遊星少年パピイ」の…(笑)。画用紙の裏表に青い万年筆で描いた覚えがある。

とり　吾妻さんも、そういった感じで似顔絵を描いたこととかは…？

吾妻　石森章太郎さんのマンガ家入門、あれでカブれて(笑)、あれはマンガ家って素晴しいように書いてあって、で、石森さんのマンガも好きで「009」とかずっと模写してた。

とり　それで足が大きくなった。(爆笑)

米沢　じゃあ、いしかわさんの足が纏足になったのは？(爆笑)

いしかわ　初期の頃は足、大きかったんだよね。指も5本あるし首もあった。女の子は今でも首があるけど男はいま首がないんだよね。プロになってしばらくして、まだなんかバランス悪いから足を小さくしたわけ。で、これはなかなか美しいんじゃないかと(笑)、それ以来、足を小さくしている。だからデビューしてから三年くらいしてから足が小さくなった。今は小さいのしか考えられない。

米沢　そのへんが抗争の一つの原因になってるわけなんですけど。

吾妻　やっぱり、足が大きくて、こう、ドーンとしてる方が安定感がある。(笑)

とり　愛知県豊田市というのは自動車の町だからあんまり足を使う必要がないんじゃないかと…(笑)。

米沢　退化していくと…北海道の原野はとりあえず歩くしかない。

吾妻　劇画でよく走ってるとき、片っぽの足がサササッと消えるでしょ、あれがブキミでね(笑)、あと劇画の靴って、何故かずうっと上の方まであるブーツみたいなのはいてるんだよね。

米沢　いしかわさんの方でなんか反論は？

いしかわ　いやー、別に…。

とり　足の大きさだけじゃなくて、ズボンの太さも違いがあるんですよね、あの「ゴルゴ13」なんか今だに先細りの…。

いしかわ　裾がダブルじゃないんだよね、シングルで先細りで靴が尖った……なんであの石森系統の絵ってさあ、足が大きくってズボンがヨレてるんだろうね、洋服屋でちゃんと計ってないんじゃないの(笑)、ズボンが五㎝ぐらい長いから、靴の上でこう、クニャクニャってなってんだよね。(爆笑)

吾妻　いやー、あれ描くとき、すごく気もちいい(笑)。

米沢　やっぱり、吾妻さんの方には曲線志向みたいなグニャグニャとしたものがあって、いしかわさんの方は直線志向。

いしかわ　うーん、やっぱ劇画なんじゃないかなあ(笑)。

米沢　抗争をさらに激化させたいと思いますが、お二人の間には長編と短編という志向の違いがあるんじゃないかと思うんです。吾妻さんの場合は何を描いても二～三コマでお話しが終っちゃって、それがいっぱい繋っているという感じで短編志向なんじゃないかと、



▲後釜を狙いつつも尊敬のまなざしをおくるとり氏

いしかわさんの場合は短編より長編の作品の方がおもしろいと、つまり、わざと話しが広がっていってどうなるか解らない…。このへんから長編と短編の志向の違いみたいなことを語っていただきたいと思うんですけど。

いしかわ　うーん、長編の方がおもしろいじゃない。大学の時、半村良を読んでた。その頃、別にマンガ家になるつもりもなかったけど、こういう書き方があるのかと、やっぱり驚いた。

米沢　半村良の何の作品ですか？

いしかわ　「石の血脈」じゃなかったかな、ウソっておもしろいじゃない。最初にウソをつくというのがあって、その後、ウソの上にシリアスを積みかさねていくと最初がウソだから、通して見るとやっぱり全部ウソで、そういうのが好きだから短編を描くときも、そういう描き方しちゃうんだよね。一番、端的に出てるのは引きなんだよね、吾妻さんも言ってたけど今どき引きで終るマンガなんて、あんまりないんだよね(笑)。

米沢　いしかわさんは、自分のマンガの基本は叙情性だ、みたいなことをいってらっしゃいますけど、その叙情性みたいなものはやっぱり長編志向から出てくるんですか？

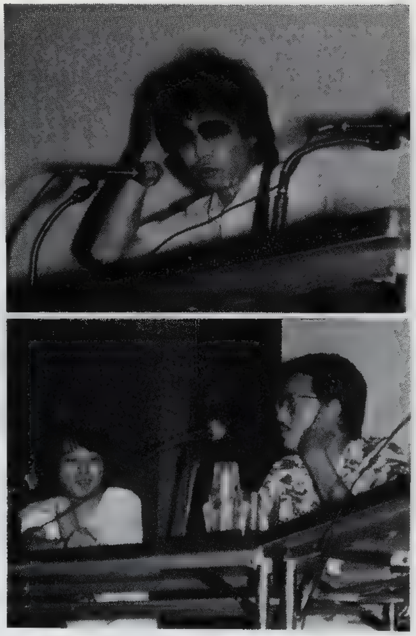
いしかわ　マン研の先輩にかわぐちかいじとほんまりうという人がいて、かわぐちかいじはやっぱり叙事の人で、ほんまりうは叙情の人なんだよね。僕はほんまさんの方が好きだったし、だからあの人の叙情性みたいなものには影響を受けていると思う。

米沢　それでは、最初は青春マンガ風のほんまりうとかかわぐちかいじタッチみたいなものを描いてらっしゃって、そのへんのものを描かなくなったのはどういう理由があるんでしょうか？

いしかわ　いや、注文が来なくなったから(笑)。最初ギャグで初めたんだけど、ギャグが描けないんだよね、一本のページ数が短いし…で食えなくなったところへ、みのり書房の知りあいが、来月までに劇画20枚描かないって言ってきて、それで描いたんだよね。なるべく、エロを多くしろというから、半分ぐらいエロにしたら、じゃあ来月もと言われて9ヶ月続いた。エロを混ぜながら描きたいことも描き続けて、何も言われなかったから、これはもう何やっても大丈夫だなと思って9本目に濡れ場の一回もないプロレスラーの話を描いたら、来月からもーいいですと言われた。（爆笑）それでオレの劇画は終ってしまった。

とり　吾妻さんは一応、短編マンガ家と言われているわけですけどそのへんは？

吾妻　僕も小説の影響があると思う。ＳＦの読み始めがＦ・ブラウンだったから。それから星新一さんシェイクリィとか短編、ショー


▲抗争の視角――マンネリであろうとも

ト・ショートが好きだった。以前は長い小説、全然読めなかったから…。

とり　それは気力が続かないから？（笑）描く場合も同じですか？

吾妻　そうですね、あの、16ページ来るともう…（笑）。

とり　前にインタビューで、長編で活躍する主人公という性格設定は好きでないということをお聞きしたんですけど。

吾妻　ああ、ようするに主人公風の主人公というのは好きでない。

とり　ヒーロー然とした主人公は好きでないということですか？

吾妻　ええ、だから、ずっと読んでたのもギャグマンガだし、ＳＦのショート・ショートというのも、ヒーローというのは出てこない。

米沢　今日はＳＦ大会ですのでＳＦとくっつけなければならないんですけど、いしかわさんのＳＦ体験、最初にＳＦと気づいて読んだというものは？

いしかわ　小学校五～六年の時図書館に置いてあったジュビナイルを全部読んだ。スペオペに近いのかな、円盤と宇宙人が出てきてドンパチやるというような。それがたぶんＳＦというイメージを形作ったんじゃないかな。ＳＦというとなんとなく宇宙人が出てこないとＳＦじゃないような気がする（笑）。

とり　吾妻さんのＳＦ体験ということになるんですけど、最初に読んだのは？

吾妻　中学生の頃、学年誌の付録についてた抄訳を読んですごいショックを受けた。

とり　それ以来、ＳＦにどっぷりと…。

吾妻　その時はまだＳＦと意識していなくて、高校の頃、星さんの短編集から、Ｆ・ブラウン、Ｒ・シェイクリィへいって、創元文庫、ＳＦマガジンとそれからずっと読むようになった。

いしかわ　ショート・ショートって全然わかんないんだよね。

吾妻　あー、わかんない人っているわけで、わかんない人は、たいてい長編へいく。

いしかわ　ずるずる長い方が、やっぱりおもしろいんだよね。読んでも読んでも終んないっていうのが大好きなんだ。（爆笑）

米沢　その後、いしかわさんの方はどんなものを？

いしかわ　その後、ＳＦの方は間があいちゃうんだよね。中学時代からは舟橋聖一とか吉行淳之介とか読んでて、最初から現代文学ばっかりで、ＳＦも大学へ入ってから現代日本ＳＦみたいなものばっかり読んでた。

とり　ＳＦを読んできて、今度は描く側へ移るわけですけど、デビュー前からマンガを描くのとＳＦを読むのが分れてなくて最初からＳＦマンガを描こうということだったんですか？

吾妻　そうです。最初に習作で描いたのもＳＦですし、持ち込みとか編集さんに見せたものもそうです。でも、これは結局、まだＳＦを読み始めで理解してなかったし、表現もヘタだったからモノにならなかった。デビュー二、三作めでちょっとやってみましたけど全然ダメですね。で、一般誌ではＳＦはダメだというのがよく解りました。

とり　初めて堂々と、よしＳＦを描くぞと思って描いた作品は？

吾妻　えーと、初期の頃は全然、編集さんを意識しないで少しはやってました。それから、「みだれモコ」とか「シャンキャット」あたりから。

米沢　でまあ、一応、SFファンをなんとか掴みきった吾妻さんと、SFファンが狙い目だというしかわさんの抗争があるわけですけど、いしかわさんとしては、そのSFファンに向ける戦略というのは？

いしかわ　戦略ってのはないんだけどなあ。SFファンってのはキチガイが多いし、だから単行本たくさん買ってくれるんじゃないかと思って。(爆笑・拍手)

米沢　吾妻さんは最近、SFを前面に出さないみたいな作品が多くなってるみたいなんですけど？

吾妻　えと、ちょっとネタがなくなってきたのもありますし、苦しくなってきたんで、普通の日常風のを描いている。わりとその方が楽なんです(笑)。

いしかわ　しかし、普通のなんか描いてたっけ？(笑)

吾妻　オレなんか、日常だよ、ホント。

いしかわ　そーかなあー。

米沢　挑発が続いております(笑)。

いしかわ　吾妻さんの家へ行ったら、帰りに玄関の前に魚が落ちてんだもんなあ(笑)。

吾妻　ほんとですか？(笑)

いしかわ　ほんとだよ、玄関の前にペタッと落ちてんの(笑)。

米沢　SFマンガを実際に描く場合の志向、SFマンガとはこういうものだ、みたいなものがあると思うんですが？

いしかわ　あんまり、SFを描こうと思って描いてないんだよね。なんか、ウソを描くとSFになるっていうか、最近、超能力みたいなものを描いているのも、超能力って便利でしょ、だから話を解りやすくするため使ってるみたいなところがあるんだよね。

吾妻　あの、だから実際読んでくれる人が笑ってくれればそれでいいという、だから、あんまり一般の雑誌で描こうとは思わない。

とり　大長編ハードSFマンガを連載という話しがありましたけど。

吾妻　ええ、ちょっと考えてみたんですけど、今はちょっとね、一度はやってみたいと思ってるけど、全体の半分ぐらいまで描いてからじゃないと安心できないような気がして、一番長いので32Pぐらいのしか描いたことないから。

いしかわ　あーいうのって、300枚とか250枚ぐらいだったら、120〜130枚描いて、前の見返してみると、あ、こんなこと描いてたのか!!　じゃあ、これを伏線にしよう。(爆笑)自分のマンガながら意外な展開があっておもしろい(笑)。

吾妻　いやー、長いの描く人、平井和正さんなんかも皆さんよくそう言うでしょ。全然、理解できない(笑)。

とり　実際にアイデアを考えるときの具体的な作業ですけど、たとえば、夏だったら海というふうに最初にテーマを決めてしまいます？

吾妻　連載ものなんかはそうですね。もうそろそろ海だとか学校だとか。毎年同じパターン(爆笑)10年ずーっと、それやってるんですよ。だから時々、去年と同じアイデアが(笑)。

いしかわ　それでも、誰も覚えてないじゃない(笑)。

米沢　でも単行本があるんですよ(笑)。

いしかわ　いや、単行本になるとき描きなおせばいいんですよ(笑)。

吾妻　それとあと、いかにパターンを変えていくかという…細い点はその場でアドリブというか紙に向かって考える。

とり　そうすると、一応アイデアみたいなものは、ほぼ、描き始めたらどうなるかわからない…。

吾妻　あの、一つのギャグを描くとその後に他のギャグが続くというのがありますね。でも8Pぐらいだったら、大体の構成は守りま

すけど。

いしかわ　最初に全部ネームとったりする？

吾妻　全部とります。

いしかわ　あ、ほんと(笑)。

米沢　いしかわさんはどうなんですか？

いしかわ　あんまりそういうこと、やったことない。パターンはいくつかあるけど、一番多いのは20枚なら20枚、最初の1コマをとるの。

吾妻　もうペンを入れちゃう？

いしかわ　うん、次の1コマがでるからね、次の1コマがでて、ずるずるっと最後まで(笑)。

吾妻　僕も、どーしようもなくアイデァが出ない時、それやります。でもあれは苦しいですね。

いしかわ　でも、それは長編と同じで前の方を見返して、あっこれ伏線にしちゃおう(笑)、こればっかりだよね。もちろん、大ざっぱな設定みたいなものはあるんだけど…。

米沢　お二人とも、マンガをかなりマニア的にお読みになって、自分のマンガに登場させるからこそ、この抗争がおこったわけですけど、手塚治虫さんなんかは自分のライバル視したマンガ家とか作家を自分のマンガの中に出すみたいなことをいってらっしゃいましたが。

とり　最初はなんで抗争が始ったんですか？

いしかわ　吾妻さんが…

吾妻　いや、いしかわさんが(笑)、「エロジェニカ」で。

いしかわ　「どろろん忍者」は？

吾妻　あれなんか、もうその後だもん!!

いしかわ　そうだっけ？

吾妻　うん(笑)。

とり　これは、でもSF的ですね、お互い何故自分が戦っているかわからない(笑)。すでに長い年月がたってしまった(笑)。

米沢　これからの戦いの予想なんですが、お二人はまだ戦う意思がおありですか？(笑)

いしかわ　戦ってたっけ？

吾妻　まあ、ネタになるなら何でもやるという(笑)。いしかわさんのキャラクターは、「ななこSOS」でちゃんとしたキャラクターになってます。

いしかわ　オレの方は月刊プレコミで一応、「電光アズマ」でやってますから(笑)。

吾妻　もう、すべて自分の中にとり込んでしまうという。

いしかわ　手塚さんの「七色いんこ」で、二人のキスシーンがあったんだよね、(爆笑)なんか、手をとりあってマンガ界の発展につくすしかないんじゃないかって(笑)。

米沢　えー、なんか、なれあいの手打ちが行われておりますが、お互いネタにしあっていくという確約が今日、とれたわけですね。それではそういうことで、とりさんの方から何にかシメて下さい。

(笑・拍手)

とり　まあー、困るんですよね…僕もお二人のファンですので自分のマンガ描く時に出ちゃうんですね、同んなじアイデアが…ネームが全く同じだったり、そうすると、こちらの仕事もなくなるし、まあ早いとこ引退していただいて(笑)、こちらに仕事をまわしていただきたいという…シメでもなんでもない(笑)。

米沢　できるだけ、セン滅戦に移ってもらいたいと。

いしかわ　デビューして6年だもんなあ、まだちょっと…吾妻さん、10年やったからもういいんじゃない。(爆笑)

米沢　それでは、そういうことで火種を残したまま終ることにします。どーも、ありがとうございました。

(文責・はぁどしゅーる新聞社)

SF大会をめぐるFC抗争派閥争い

しっぽがない　大村佳子

TOKONⅧについて、FCから何か……なんて原稿依頼受けたんだけど、実は私、TOKONⅧ、行ってない。行ってないくせにこんな原稿引受けちゃったのは馬鹿だけど、私だって普通の人妻だから、やさしいお兄様に頼まれたんじゃ嫌とは言えない。仕方がないから、どうして私がTOKONに参加しなかったのかをお話しますね。

「シッポがない」はSF大会なんかでわりと派手に動いてる吾妻FCだけど、一応建前としては左派なんです。といっても、社会党みたいなもんで、右翼から極左まで抱えてる。党主たる私からして日和見主義で、たいていどことでも親しくつき合っちゃう。敵を作るのが恐いせいもあるけれど、もともと浮気だし。幹部連はいろいろで、私と共に日和見を決め込む美青年もいれば、純SF保守派、もうけ主義右翼戦犯、社会主義的ミーハー等々。それでも幹部はまだマシな方で、末端部分には過激なテロリストやロリコンあがりの人妻ミーハーまでウロついてるから手がつけられない。その分派争いとなると、それぞれにバックをつけたりするからもう、訳わかんない。TOKON前は丁度その分派抗争の一番激しい時だったんですよね。

SF大会が各SFサークルの分派争いの場として利用され始めたのはいつ頃からかしら。吾妻系FCも例外じゃなく、吾妻vsいしかわ抗争がDAICONにて華々しく行なわれたのはまだ記憶に新しい。TOKONでも当然そういう事態が予想されたから、私としては先手を打つつもりでTOKON側に手を回して。でもそれが裏目に出ちゃったのよね。TOKON参加者にシッポがない会員がやたら多いとか、コスチュームショー一般審査委員の席をシッポが独占したとか、噂されて。あげくはシッポの資金源はゼネプロだとか、会長は人妻であるとか、根も葉もない中傷や事実が取沙汰されて。

TOKON一週間前、私は各派調整のため広島へと旅立ち、この時はまだTOKONにも参加するつもりだったんです。広島といえば大日本吾妻ひでお翼賛会の本拠地だから、ここさえ押えておけばシッポも安泰のはず、首尾よくコスチュームショー審査員席ひとつで買収して帰ったんですけど…。本部に留守中クーデターが起り、純SF保守派のボスM氏が盲腸をわずらい、私は私で実家に不幸が起ってTOKON参加を断念せざるを得なくなる始末。これがKGB（関西からゼネプロを追放する市民暴力団）の仕業とわかったのはつい最近のことで、今でこそ「シッポがない」＝「ゼネプロ」という誤解もとけたけれども、まだまだ安心はできない。我会がマジマフの伊藤会長FC、CIA（市民伊藤愛護会）とつながりのあることが知れたらと思うと私は夜も眠れない。思わぬ敵を作ってしまったものです。

で、来るDAICONⅣまでに我会が解散、総選挙との噂も聞えはじめる今日この頃です。


TOKONⅧのころ
ぼくは今よりヒマだったのだ
とり・みき
なにィヨソの仕事やってて
秋田書店
どーもー
しまった
SFイズムにかくんじゃなかった
大会のことを思い出そうと当時の写真を見かえすと…
ほとんど鈴木かおり(仮名)ばかりを写しておるではないか
しくしく
えーとマンガ家パネルの前 控え室での話
×沢×××はねー ……とゆー ありさまなのに 試験パスしちゃったのよ
なんのこっちゃ わからんでしょーか すんません
JOE
とりくんは明大卒業したの?
はっ
いえ4年間 在籍しましたが ずっこけました
………
そう



ぼくは
ドキ
5年間いたが
ちゃんと
卒業した
まいったか
ふっふっふ
一部で私が漫画界の
大リーグ養成ギブス
明大漫研出身だとゆー
噂がひろまっているが
これはデマである
ぼくは
落研にいたの
でちゅ
ちなみに明大落研には
私が一年の時、四年生に
現在、コント赤信号の
渡辺氏と小宮氏が
在籍していた
渡辺さん
小宮さん
小宮さんは恵比寿の
テアトルエコーの近く
の公園のどまん中で
(夜中ではあったが)
ウンコをしたりして
田舎者の私に
カルチャーショック
を与えた
どっせい
渡辺さんは卒業記念に
校舎の屋上で
ヌードを撮った
また、三年生の先輩の
部屋に泊った時
おまえのやつで
いいから
歯ブラシかして
くんない?
今も私の胸に
ひびく言葉です
お二人とも
ボクのことなんか
おぼえてないでしょうね
とりくん……


今連載は？
月刊一本だけです
そりゃあ…
苦しいねエ…
ふっふっふっ
とりくん
ドキン
この日焼けどこへ行ってきたためだと思うかね
グアムですか
ハワイかな
これは……
？
沖縄焼けだ——!!
きゃーっ
あっ山田さんこの子も明治だって
そりゃ気の毒に
ぼくもです
そーだ米沢さんもだ
重信房子!!

わけわからん


高倉健
宇崎竜童
三木武夫
ビートたけし
落合恵子
マサ斉藤!!
チャッ
あっ 劇画がいる
みなさんは吾妻・いしかわ抗争なんてマンガの中だけのことだとお思いでしょう
だが私は見た
いしかわさん単行本出ましたか アニメ化の話なんかないでしょ この劇画め 劇画劇画 ぺぺ ぺぺぺぺぺぺぺぺぺぺ
いわゆる中央線グループとゆーものが
しかし五十嵐○一氏や片△まさゆき氏など依前として明大漫研の攻勢は続くのであった ここらで落研もがんばってマンガ家を送り出してほしい
そーいえば昔
明大前で見かけた怪人じゃばら眼男はどうしているのでしょう
完

時刊新聞ピックアップ

The hourly paper of Tokon Ⅷ

・TOKON Ⅷの二日間、会場内で恒例の時・刊の新聞が発行された。名づけて「時刊新聞」。御前憲広氏以下、約十五名のスタッフから成る時刊新聞社の勇気ある企画だった。なにしろ五百部ずつとはいえ、一時間に一回ずつ休みなくB４判の新聞を出し続けようというのだから大変な話である。

時刊新聞社は大会受付わきの小部屋に陣どり、軽オフの印刷機を運び込んで、その場で時刊新聞を印刷しては会場内で無料で配布した。結局、十四日朝十時半頃発行の創刊号から、十五日未明三時半発行の十八号までが続いて発行され、五時間の休刊のあと、十五日十五時頃発行の二十八号まで発行された。創刊マイナス一号、０号まで入れると合計三十号発行されたことになる。最後の四号位はなんと三十分おきに発行されている。

記事はスタッフの取材によるものと、大会参加者の持ち込み、大会事務局からのお知らせから成り、当然のことながらプロの投稿も多かった。一種の会場内情報紙としての企画だったわけだが、突発的に配られていたので、大会参加者でもほとんどの人がとびとびにしか読めなかったようだ。そこで、時刊新聞社の協力により、時刊新聞の中から面白そうな記事をピックアップしてみよう。

時刊新聞 創刊号
発行：時刊新聞社

実行委員会からのおしらせ
受付でお渡しした袋の中には次のものが入っています。足りない場合には本部にお申し出下さい。
・プログラム・ブック
・ゲーム盤，ゲームの駒
・時刊新聞 -1号，0号
・TOKON Ⅷ EXPRESS
・日本SF年鑑，愛読者カード

訂正とおわび
入場の際配布した時刊ファンジンが創刊1号となっていましたが，創刊-1号（マイナス1号）の誤りです。訂正しおわびします。

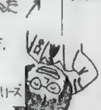
プログラムの追加
第八会議室で 19:00～20:30に「イスカーチェリ全国大会」（代表：遠沢淑人）が開かれます。ただし原則としてクローズです。
波津博明
8/14 1時30分



［受付前発 9:45］
大会受付1番のりは，名古屋の川島鉱二さん
東京入りは朝4:40
「しっぽがない」の名古屋支部の人だそーです。
大ホールがわからなくて，さっそく迷っていました
みなさん，気を付けて下さい。

SF大会1番のりは 5時半!!（7人ほど）
大垣発の電車に乗っていらしたのこと。
みんなで6時半のラジオ体操をしたそうです。
9時40分 太田

ファンジン横横その1.（その2があるか？）
※他のファンジンを買って，金が余ったらうちのを買って下さい!!
—けいおうSF.
※、一買って下さい。
—ハレーシング・ストーリーズ



※会場には要注意の人もいるから，迷惑をかけないようにしよう。
—ドラルファマドール
※、オープニング・アニメが見たい!!
—ミステリアス・ジャーニー
中ホールにて AM10:00 遠藤

パラレル・ワールド旅行社 一番組は 石原・会津組 11時発 です

スペース・フォース・コスチューム・パーティ の受付
12:00～15:00 正面入口にて
スペース・フォース 井上

超豪華 あたりくじ付大発売!! by 白東博士
◎SF図書解説総目録 1946～70上
◎『SFマガジン』インデックス 1～100
◎ 〃 〃 101～200
65人にあたるくじの賞品は ナントナント
・元々社シリーズ全巻そろい！1組
・SFマガジン 丸表紙11冊！1組
その他，桃源社など古本いろいろ
・光世紀星図カラー・コピー 10人分
・SFダイアリー などなど
SF資料研究会 小使い代理 大宮
8月13日 午後10時

Gestetner Print Copy System

▲時刊新聞創刊号。（14日10時半頃発行）さっそく「しっぽがない」の人が登場している。

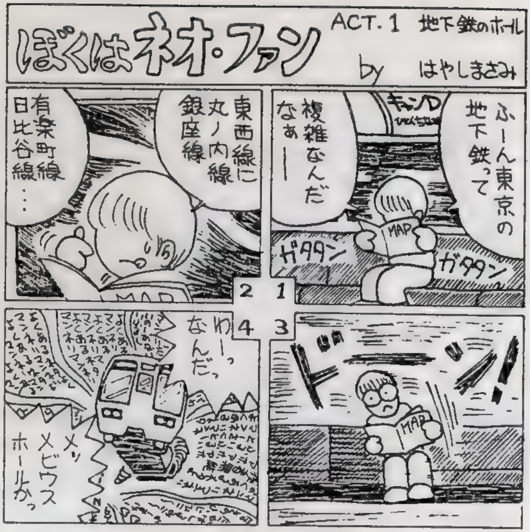
SF作家 インタビュー

ようこそおいでくださいました.
毎度ありがとうございます.
彩狂酒場にどうぞ 矢野徹さん

何という迷いやすい場所なん
でしょうか!
(受付まで15分迷ったそうです)
新井素子さん

堀晃
今つきました. あーつかれた

1時35分
入口にて
(太田)



▲2号(11時半発行)より。
連載マンガもあった。

▼5号(14時半発行)より。

あづまさんは中ホールで
3:30ごろサイン会をしていた。
女の子にはにこにこしながら
していたが
男の人には不満そうに
していた。
(そこの同人誌を買わないと
してくれなかった。)
そばに 沖由加雄さんも
いた。
「20年たってもシベールから
ぬけられまい」と
いわれていた。 m.m

SF作家 1言インタビュー

だんだんアメリカの大会に似て
きました。アメリカの大会をひど
くせせこましくした感じです.

紫野拓美

3時50分
中ホールにて
(太田)

◀7号(16時半発行)より。

落し物

ブラスターのスコープ部分
(B級消耗パーツ)を落された
方. 本部室に届いて
おります。

▲6号(15時半発行)より。

丁羅撫羅雲大社 縁起

そもく丁羅撫羅雲大社とは、皇紀参千伍百拾年(西暦弐千八百四拾年)輪状世界に降臨し給ひし丁羅撫羅雲●命を、始祖とし、頬巣鵜守を開祖とする由緒正しき神社也。彼等、久慶破迎手悪悪の悪鬼を従へ、穹窿の彼方より飛来す。頬巣と配下の悪鬼飛びさりて後も、丁羅唯一人此の世界に留まりて我等を導く。彼せの幸運、尋常に非ず。幾多の災厄より我等を救く。嘗て、昼夜の規則乱れ、末世の来たりしかど、人心穏やかならざる時、丁羅、頬巣を呼ばりてこれを追せしめ、衆生救済の為、自ら木乃伊となりて隠る。本社、丁羅の残せし徳を偲びて、神乃挙の麓に建立さる。丁羅の幸運我等を守る。本社の縁起、正に是也。

輪状世界建設公司

▶10号(19時半発行)より。

マンガ家
座談会のしめで
しくじった。
吾妻先生、いしかわ先生
(涙) ごめんなさい



とり・みき

急いでる時、サインした方、線が汚なくなってごめんね。

◀18号(3時半発行)より。

時刊新聞

第13号
22:30

酒すくてすくて
おしのけか酒の精

矢野徹

SF大会へはじめて
出席した

石川英輔

▲13号(22時半発行)より。

何を飲んでいるのやらわけがわからなくなってまた飲んでカラオケはきらい、だけどウチワの風は好き暑い暑いです
ねぇ冷房つきの部屋って暑いですね
贅沢バンザイ ヤノ(鉄)バンザイ
少しわけがわからなくなって何を飲んでいるのやら(以下くり返し)

岡村 [illegible]

◀12号(21時半発行)より。

《矢野徹 情報》

(部)540の発狂酒場では14畳の部屋になんと70人の人々が酒を飲みさわいでいます。

今から行こうと思う方、この部屋ではコップがたりないので、まずコップを手に入れてからおいで下さい。



出渕氏作.

▲18号より。

8/15 9:55
ローラリアス・コスチュームメンバーは昨夜 30分
くいもの もとめて夜の街をあるきまわった。その
異様なすがたに ついに どこでもことわられ
一夜 はらぺこの ままずごしたとか…
ローラのメンバーを見かけたら 何かめぐんであげて下さい。
ローラリアスショーをよろしく Y.T.

▲22号(11時半発行)より。

ヤマト対
ジオン

ドムがヤマト艦橋
をつぶし、後部
ハッチがあくのをまって
でてくるコスモタイガーをけちらして
内部に入ってあばれまわって
ジオンの勝ち。でも第3艦
橋は何回もぎとっても次々と
はえてくるので せんりょうできず。

仮面ライダー
ストロンガー
対
女子高生

女子高生がエレガードで
ストロンガーのウデの
まさつによる静電気を
防止して変身不能とな
ったストロンガーを
ひじてつで たおして
女子高生の勝ち

仮面ライダー
対
ウルトラマン

ライダーがサイクロン号で
3分間
にげまわって
ライダーのかち

石川英輔

▲24号より。

たった今、僕は サイン
入りミャア官を¥9,500
でせり落としました。
今は放心状態です。

あ〜〜〜〜

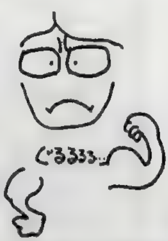
広島原人
泉くん
8/15 AM 11:38

▲24号(12時半発行)より　このミャア官を出品したのは知佳舎だったのでした。

☆. 何と、あの新井素子
さんが今日は迷わず
に着いたそうです!

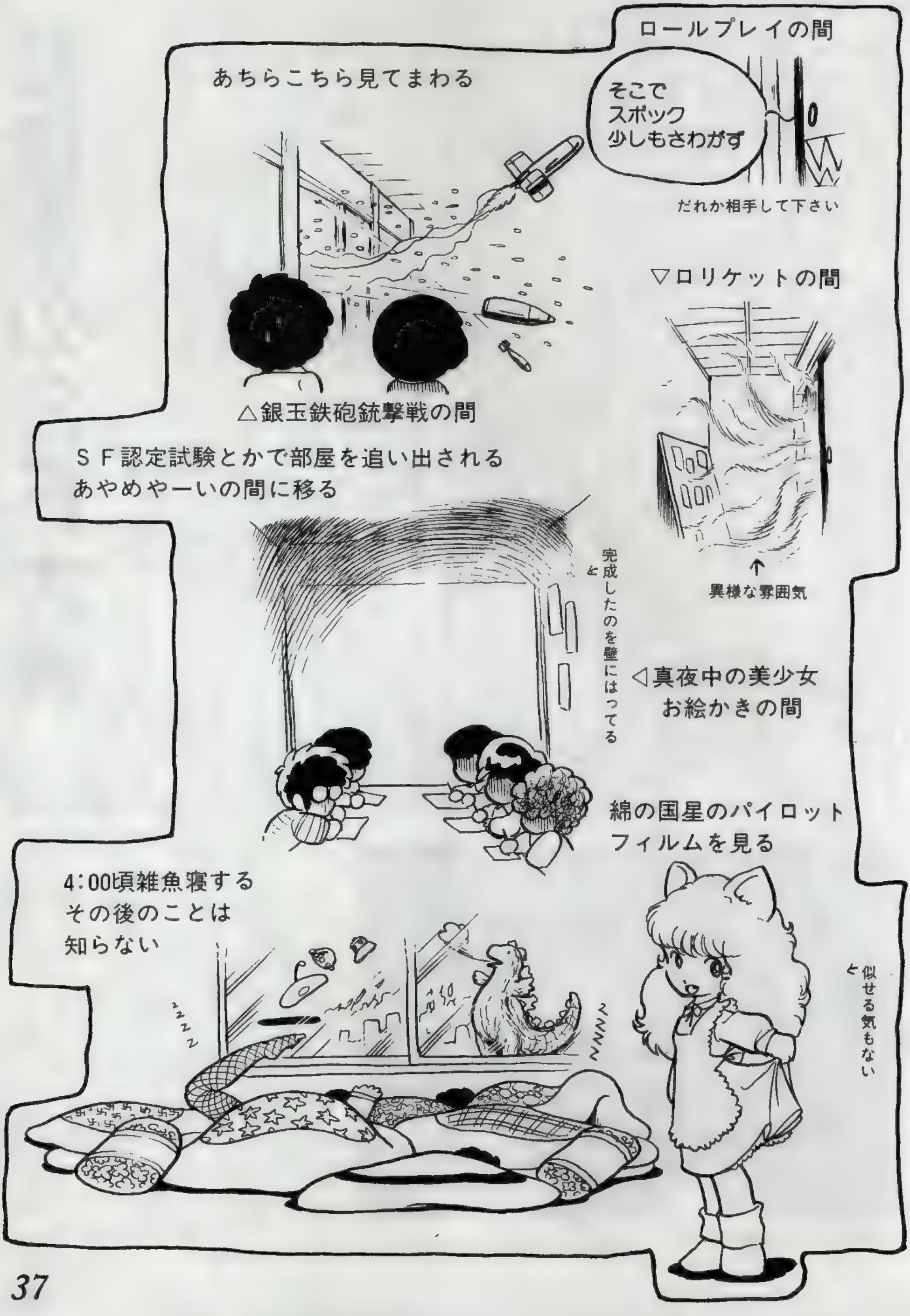
▲26号(13時半発行)より。

高千穂遙先生の
お昼は、ハンバーグ定食
でしたぐわ。2人前頼んだ
筈なのに1人分しか来ない…!
とご立腹なさってました。
"ゴシップイズム"終生会長
8/15 13:25PM



▲27号(14時発行)より。


1982 : A URA GASHUKU ODYSSEY
沖由佳雄
ＳＦ大会第１日目終了ののち
赤坂を放浪の末、遅い食事をとって
タクシーで裏合宿へ向う
本当にこっちですかー？
つけるんかいな
この間来た時昼間だったから
えーとこの酒屋を
おーこっちだこっちだ
なんとか着く
早速酒盛りが始まる
おーい酒買って来ーい
つまみは何にする？
氷もね
わ、もう樽が空いた
ウイスキーまだある？
ほとぼりがさめた頃、古本のオークションに行ってみる
いろいろ売っていたが、ミャア官とかしか高値がつかないと
知佳舎の人が泣いていた
へろ二万
シベール五千
ミャア官七千
えー!?これが200円？初版で絶版だよ～～



ロールプレイの間
そこで
スポック
少しもさわがず
だれか相手して下さい
あちらこちら見てまわる
△銀玉鉄砲銃撃戦の間
▽ロリケットの間
異様な雰囲気
ＳＦ認定試験とかで部屋を追い出される
あやめやーいの間に移る
完成したのを壁にはってる
◁真夜中の美少女
お絵かきの間
綿の国星のパイロット
フィルムを見る
4:00頃雑魚寝する
その後のことは
知らない
似せる気もない

知佳舎のSF大会

知佳舎

TOKONⅧは言うまでもなく東京で開催された。そのせいか、安心感もあったのだろう。申し込みを二、三週間のばしていたら、みごとに合宿にあぶれてしまった。

こんなことはかってなかったわけで、その前年のDAICONも、その前も合宿なんて二ヶ月ぐらいは充分に余裕があった。

はっきり言って、SF大会の愉しみは合宿であるはずだった。初参加の純情なSFファンはいざしらず、SF大会も数回目となると、昼間のプログラムは余興にすぎないし、ましてや二日目のホールなどはぐっすり眠るための場所になってしまう。

TOKONⅧでかくも早く合宿が締切られたのは、初参加の人間が多かったかららしい。とくに東京で開催されるということも手伝ってか、北から南からまんべんなく申し込みがあったとのことだ。

そうなると、合宿からあぶれるのはロートルのSFファンなのだった。僕ばかりでなく、あちこちで、合宿に入れなかったという声を聞いた。

そんなときのこと、某氏が発起人になって、裏合宿をやりたいという話が伝わってきた。この根廻しは隠密裏に行なわれ、初めての会合が渋谷で開かれた。このときは、ゼネプロの某氏も顔をみせていて、協力を申し出た。これが十二月か一月か、そのあたりの話だ。もう昔の話なので、よく憶えていない。

それから毎週土曜に渋谷に集まり、具体的な話を詰めていった。SF大会の実行委員会にはばれないように配慮して、事務所まで確保した。

この間、知佳舎はなにをしていたのかというと、実はなにもしていなかった。僕もそうだけど、K氏も名うてのなまけ者で、仕事などなにもしたくなかったし、実際しなかった。ただ、明記しておきたいのは、「SFおもしろ組PAX」の名付け親はほとんど知佳舎だったといっていいだろう。

とにかく仕事をしなかったから、しまいにはあきれられて、なにも仕事をしなくていいよということになった。ただ、協力グループとして、吾妻さんとの折衝であるとか、古本オークション、お料理教室の企画を頼まれた。

これとほぼ同時期に、SF大会の方からも古本企画について打診してきた。まるで、これでは知佳舎が古本ブローカーのように見えるけれど、実はそうではない。ただ、当時現役で古書展まわりをやっていたのは知佳舎ぐらいしかいなかっただけの話だ。今、頼まれたとしたら、とても引き受けることはできないだろう。

お料理教室について、ちょっと書いておこう。これはK氏の担当ということになっていた。なにしろ、K氏といえばSF料理研究家



▲悪名高き裏合宿の古本オークション！

であるし（それなのに、「スターログ」の文章は僕に書かせてしまった悪い人間である）ちょうど「ちかちかインフォメーション」ではクッキングアウトオブディスワールドが連載されていた。というわけで、K氏がシナリオを書き、ビデオ撮りをすることになった。夏休みに入った。ある上天気の日にビデオ撮りは決行された。場所はお茶の水大学の一郭。この日は朝からいやな予感がしていたのだけれど、それが現実のものとなってしまった。料理長はK氏、アシスタントは女の子だけど、試食者の一人にさせられてしまったのだ。S君も同じ運命で、知佳舎からは三人の出演というわけだ。

SFお料理教室というぐらいだから、料理にはなんの保証もない。おまけに、眼の前に供される料理が、この世のものとは思われぬしろもので、これを食べなければならない。寒天のなかにヒト形のものが浮いている、コールドスリープなるものを食べてしまって、思わず後悔した。あとでこのビデオを見ると、演技もクサいし、いい恥さらしになってしまったのだった。

このときのエピソードを一つ。大学の人なのだろう。おばさんが通りかかって、「後かたずけをしておいてくださいね」と言ったので、エプロンをしたK氏が「はい」と素直に答えた。と、おばさんは「あら、男の人だったのね」と言って、立ち去ってしまった。

まあ、そんなこんなでSF大会当日になってしまった。大会当日については、ほとんどなにも書くべきことがない。いくつか、エピソードを書きとめておくにとどめよう。

一日目、新井素子さんが到着したよ、という知らせを聞いて、うちわをあげに玄関まで出ていった。するとサインを求める人の列。こちらに気づかない様子なので、うちわでつんつんしてやった。すると、列のなかから、「新井さんにつんつんなんてしないでほしいな」という声。ファンというのは、おそろしい。それと、毎年のことではあるけれど、サインをするために、作家がほかのことをなにもできないという状況はなんとかしてほしいような気がする。新井さんなどは作家というよりは、アイドルになっている。

知佳舎でつくったうちわであるけれど、TOKONⅧで三年目。恒例になってしまった。今回は、直接電話で大宮さんに許可を得て、裏面の大宮さんの御尊顔を拝借することになったのだ。ただ、吾妻さんが乗りすぎてしまったのと、米沢さんの決めた配色の関係で、大宮信光の水ぶくれうちわができあがってしまった。後に、「SFの本」発刊パーティーの席に少し顔を出したとき、帰り際になって大宮さんがみえられた。そのとき、脇で牧さんが「あいつらが知佳舎です。撲ってやってください」と一声。おもわず、慄えあがってしまった。

TOKONとSF合宿でオークションをしたから、さぞかし儲かったと思われる方もいるかもしれないけれど、実はそれほどではなかった。今までの赤字が黒字に転じた程度で、その黒字も一回の同人誌代にしかならなかった。マンガの同人誌とは違って、SFを主体にした同人誌で黒字になるのは難しい。

TOKONⅧはもぐりの入場者が多かった。僕の知っている範囲内でも何人かいる。朝以外は受付がなかったようなものだから、こうなったのだろう。正規で入場していると、高いお金を払ったのに、という気持ちがある。高いといえば、TOKONⅧの参加費は高かった。そのわりに、あまりおもしろい企画もなかったためか、一般に今回のSF大会は不評だった。特に、都市センターホールの合宿は悲惨だったらしい。まだ、ダイヤモンドホテルは廊下芸などがあったらしく、騒げたようだ。

今年はDAICON　である。最大の規模の大会になるようだから、いろいろと期待もしている。（飲んで騒げりゃそれでいい、という説もあるが）年に一回のお祭りだから、期待を裏切らせないでほしいのだ。

TOKONおつかれ控

いしかわじゅん






ガラガラガラ。。
まだ市民権は得てないみたいね………
ね……
今回のオトモはファンクラブナンバー2赤田義郎である
彼はこの時高校三年生受験講座をさぼっての参加である
結局浪人した
あ、センセ遅かったですね
やあ伊藤くん
ボク朝日新聞に就職内定したんです
ぬ・ぬわにい〜〜っアサヒシンブン!!
イイカカアア
アサヒアサヒ
ちょっちょっちょっ!!
なっなっな!?
いいかこれから毎日オレの4コマとどけるからサトウサンペイと差しかえるんだ!
あんなもんいない方が日本のタメだ!
え……で、でも…



いやー ファンクラブの会長が朝日新聞とはついてるなー!
やりましたね!
センセ
いしかわさん そろそろ出番ですよ
とりみき氏
また吾妻いしかわ抗争かー
吾妻ひでお
他にネタがないのかなー
米沢嘉博氏
ワタシはクマを見て育った!
北海道ウロホロ
ワタシはクルマを見て育った!
愛知県豊田市
フムフム その辺に人格形成のナゾが……
ナットクせんでくれ
へー 明治出身なの
後輩です


漫研じゃないよね
落研なんです
そういえば末広か鈴本にいそうな顔だ
前座のとりですなんちゃって
サインサイン
オッ 2年目となるとダイブ慣れたな
HAMY・3 新入荷!!
ドラゴン
毎年出店がスゴイねー
ワイワイ
ワイワイ
SW・3
ブキミ人形いりませんか
いらんいらん
じめ
じめ
しかしウチのファンクラブはなんも活動せんなー
困ったもんですねー
オマエラのことだよ!
ウーム
はっはっは
今晩裏合宿行ってみない?
本郷の修学旅行用の旅館なんだってさ
へー



この辺のハズだがなー
お
ぴゅー
どん
ちゃん
おおお
ウーム
SFって
こういうもの
だったのか
……
ずる
ずる
よくおぼえてない
ロリコーンの部屋
そーっ
あああ
見るんじゃ
なかった
〜〜〜〜!!


ここはにぎやかだな
わははは
どた
どた
わはははは
こ、このSFはまだ読んだことがない……!!
センセ バクチやりませんか
ちょー!
はん!
勝った……!
オー!!
負けた……!
古本のオークションやってますよ
よし行こ行こ!
ハイ次はミヤア官新品同様
百円からから!


千円
千円
千円!
千百円!
二千円!
つん
つん
ウーム
ダミーを使って
値をつり上げ
てるなー
さん
一夜明けてもまだSFである
う〜〜
寝坊
しちゃった〜〜
愛国戦隊が
はじまり
ますよ!
ナニ!
ドー!
ドーン
ドゴー!
これしか覚えてない
ウーム
大学構内で
撮ったとは
思えん!
さあ
いよいよ
星雲賞の
発表ですよ!
今年は
大友だよ
いや
「約束の地」なら
とれますよ



「気分はもう戦争」より「約束の地」の方がいい出来だとオレは思うけど
大友克洋センセイはハヤリだから
コミック部門「気分はもう戦争」!
気分はもう
やぱし
キッパリ
終った終った
ドャドャ
都会の孤独
これでSFとも一年間縁が切れ……
吾妻ひでお——
こんなとこでなにしてんの?
別に……
マンガがおわるものですから!
ワーワーオレ言おうと思ったのにー!!
ただこうしているとそのうち……
半年も前のことで、思い出すのがタイヘンでした。
'83.3.15
完。

こーして私はスタッフした

橘　敦

8月14日、例年程暑くもなく、かと言って涼しくもない夏の朝、私は前週の日曜に死ぬ思いで過ごしたコミケットのつかれもそのままに、半死半生の体をひきずって、ここ地下鉄有楽町線永田町駅の、核シェルターの様に深い構内をあきれる程長いエスカレーターで地上をめざして上っていた。

アニメーションの製作会社などという、世間の後ろ指がレーザービームみたいに背中に突きささる、最低最悪最下級の職業に従事している私にとって年末の一時金と同じ位貴重な夏休みの最後の一日を、なんでこんなところでつぶしているのか、自分の運命をのろってみたりする。

周囲の人々はこの時期のこの場所には、おおよそ見当らない様な若い人がほとんどで、なにやら怪しげな横文字や、イラストを染めぬいたTシャツやバッグを持ち、例外なく楽しそうにしていて、その喜色をたたえた表情を見ていると、自分の中の疲労感がドッと増す様な気がして溜め息が出た。

そう！、今日と明日の終戦記念日の2日間、この付近の都市センターホールで、あの恐怖の〝日本SF大会〟TOKONⅧが行なわれるのだ。つまり今エスカレーターで上っていく、若い人のほとんど地上を徘徊している若い人達のほとんどSFファンという悪夢の様な環境となっているのだ。空調の効いている筈の構内にいるのに、冷汗がしたたり落ちて来た。

何故半死半生半白痴の私が申し込んでもいないSF大会会場に向かっているのか、事の起りは3ヶ月程前に遡る。知人の一人、通称〝K伯爵〟と某メカデザイナーの通称〝ブチ〟の両氏より、我社の製作する長編アニメーションのパイロットフィルムの、VTRのSF大会出品を求められたからである。最初の間こそ、可能ならば、という条件付きだったその依頼が、途中からK伯爵得意のジワジワと絡み付く様な強迫に変り、8月の初め頃には、そうする事が私の義務になっていた。だが、まあたかだか6～7分の代物だし、まさか一日中放映する訳でもあるまいから、20分程で開放されるだろうと考えていたのが、甘かった。SFファンを甘く考えすぎていたのだ。

会場前には開場まで一時間程有るにもかかわらず、もう百人程のSFファンがたむろしていた。その中を必要以上に第三者の風を装って、受付で来意をつげると、K伯爵がおなじみのカリオストロスマイルでやって来た。

彼はVTRの設備の有る小ホールに私を連れて行くと、何故かテープを受け取ろうとせずスタッフ諸氏に私を紹介した。VTRは午後使用するとのことで、若干いやな予感がしたが、テープを担当者に預け、ソファにすわり込んだ。そうこうするうち開場となり、SFファンが通路と言わずホールと言わずウロつき出し、それを見るともなく眺めていると、またもK伯爵、彼は私を認めると、カリオストロスマイルをたやさずに、開口一番、

「ヒマそうだね。実は予想以上の混雑で人手が足りないのだ。ちょうど君はコミケットでこういう事にはなれている。場内の整理をしてくれたまえ」

一瞬、言葉の意味を解せなかった私は、すでにその活動を停止しかかっている前頭葉を必死で働かせ徒労の弁明を行なった。

「し、しかし、僕はスタッフじゃないし、だから、その、つまりなんで僕が……。」

「フッフッフッ、あきらめたまえ、君に渡したその参加者プレートが、一般用などと思っていたのかね。そのプレートの色はオレンジすなわち、スタッフ用なのだよ。」

それ以上抗う術は無かった。私はノロノロと、任務に着いた。今日一日だけだと自分に言い聞かせ。持参したVTRテープの放映が明日の午後にのびる事など、その時の私に知る由も無い。

―了―

資料 星雲賞

★海外長編部門

1 創世記機械（ホーガン）
2 キャッチワールド（クリス・ボイス）
3 流れよ我が涙と警官は言った（ディック）
4 リングワールド再び（ラリイ・ニーヴン）
5 ロード・マークス（ゼラズニイ）
6 夢幻会社（J・G・バラード）
7 カリスマ（マイクル・コニイ）
8 該当作なし
9 冬の夜一人の旅人が（イタロ・カルヴィーノ）
10 JEM（フレデリック・ポール）

★海外短編部門

1 勇ましいちびのトースター（ディッシュ）
2 サンド・キングス（R・R・マーティン）
3 該当作なし
4 蒼ざめた逍遙（クリストファ・プリースト）
5 仮面（スタニスラフ・レム）
6 無伴奏ソナタ（O・S・カード）
7 海の鎖（ガードナー・ドゾア）
8 スパーリンとコサックたち（S・C・ピートリー）
9 美しきもの（ノーマン・スピンラッド）
10 田園の女王（R・A・ラファティ）

★日本長編部門

1 吉里吉里人（井上ひさし）
2 虚人たち（筒井康隆）
3 ひとめあなたに…（新井素子）
4 扉を開けて（新井素子）
5 タイムマシン惑星（石原藤夫）
6 該当作なし
7 幻獣変化（夢枕獏）
8 惑星CB—8越冬隊（谷甲州）
9 不死を狩る者（鏡明）
10 地球物語（大原まり子、火浦巧、水見稜）

★日本短編部門

1 ネプチューン（新井素子）
2 リビング・インサイド・ユア・ラブ（大原まり子）
3 該当作なし
4 はるかな草原に（栗本薫）
5 ホイール惑星（石原藤夫）
6 竈の火（山田正紀）
7 まだ地上的な天使（亀和田武）
8 謀殺（神林長平）
9 使命（森下一仁）
10 一九六七空間（梶尾真二）

★メディア部門

1 該当作なし
2 ある日どこかで
3 ストーカー
4 エクスカリバー
5 魔界転生
6 タイム・アフター・タイム
7 スーパーマンII
8 フラッシュゴードン
9 ニューヨーク1997
10 アルタードステーツ

★コミック部門

1 気分はもう戦争（大友克洋・矢作俊彦）
2 A—A'（萩尾望都）
3 約束の地（いしかわじゅん）
4 どっきりドクター（細野不二彦）
5 オンゴロの仮面（諸星大二郎）
6 夢見る惑星（佐藤史生）
7 笛吹伝説（山田ミネコ）
8 該当作なし
9 夢庭園（鳥図明児）
10 怪人アッカーマン（新田たつお）

★アート部門

1 長岡秀星
2 天野嘉孝
3 該当作なし
4 加藤直之
5 新井苑子
6 生頼範義
7 スタジオ・ぬえ
8 角田純男
9 宮武一貴
10 稲葉隆一

★特別賞

「宇宙塵」

★大会メディア賞

「ダイコンオープニングアニメ」

TOKON VIII プライベートレポート

SF大会本

1983年4月1日発行　定価300円　©1983

編集　小ロ　宏　米沢嘉博　高垣昌二
大日本吾妻漫画振興会
はあどしゅーる新聞社
知佳舎 HGFC
東京おとなクラブ

協力　TOKONVIII事務局
時刊新聞社

発行所　虎馬書房
〒164 東京都中野区弥生町4－2－16
高垣方　振替 東京9－76762 高垣昌二

《編集後記にかえて》

なぜ「SF大会本」を出すことになったのかは、自らの中の“熱狂”を確認したい、という阿島俊の言葉につけ加えるなら、ぼくたちは「SF大会本」の中で“熱狂”したかったからだろう。それは、もしかしたら、SF大会で熱狂していた人たちから見ると、あまり熱狂することのなくなった“年寄”が何かやっているというように映るかもしれない。しかし、まあよいではないか。82年の夏、東京でSF大会があったことは確かなのだから。

夏にはまた大阪に繰り出そう。今年は大阪でSF大会があるのだから。そしてまた、「SF大会本」が出るかどうか……。それは、まだ分らないのである。

SF大会本　TOKON Ⅷプライベートレポート

一九八三年四月一日発行

虎馬書房

定価三〇〇円

